

2027 年 10 月 認定日本語教育機関として開校予定

- ・環境を考える！進学2年コース（4月入学）
- ・環境を考える！進学1年6ヶ月コース（10月入学）

【認定日本語教育機関の設置者】

株式会社和円商事 代表者：本多敏行
中央区日本橋久松町 9-12 和円ビル 4 階

【認定日本語教育機関の名称】

東京四木教育学院
葛飾区四つ木 2-8-1

【学校の理念】

本機関は、環境分野における企業活動を通じて社会課題の解決に取り組んできた経験を踏まえ、日本語教育を通じた社会貢献を理念とする。

日本の高等教育機関への進学に必要な日本語能力の育成を中心に、日本の生活文化、社会規範及びマナーへの理解を深め、学習者が日本社会に円滑に適応できることを目指す。また、環境分野に関する学びを教育課程に取り入れ、持続可能な社会に対する理解と関心を育む。

【目的】

本機関は、日本語を母語としない学習者に対し、日本の大学、大学院、専門学校等への進学に必要な日本語能力及び学習態度を養成するとともに、日本の社会・文化に関する基礎的知識を教授することを目的とする。あわせて、環境分野に関する基礎的な学びを通じて、将来の専門的学習につながる素養を育成する。

【目標】

1. 日本の高等教育機関への進学に必要な日本語運用能力及び主体的に学ぶ態度を育成する。
2. 日本の生活文化、学内外で求められるマナー及び社会規範への理解を深め、円滑な人間関係を構築できる能力を育成する。
3. 環境問題や持続可能な社会に関する基礎的知識を学び、将来の専門分野での学習につなげる。

【特徴】

- ・ 環境問題、SDGsなどのテーマを日本語学習の教材や課題に取り入れて授業を行う。
- ・ 日本の生活文化や社会的マナーについての教育を入学前より継続して行う。
- ・ 定期的に目標設定と振り返りの機会を設け、主体的な自律学習の習慣が身につくようサポートする。
- ・ ごみ処理場や環境問題に取り組んでいる企業を見学し学習と直結した課外授業を行う。

【日本語教育課程の授業科目及びその内容】

1. 日本語に関する科目】

「日本語コミュニケーション」

日常生活、学校、地域社会、職場などのさまざまな場面で、相手や状況に応じた日本語を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合う力を養う。会話の開始・継続・終了、質問、応答、意見交換、依頼、説明などの言語活動を通して、円滑な対人コミュニケーション能力を育成する。

「発表」

自分の経験、調査結果、意見、課題解決の提案などを整理し、聞き手に分かりやすく伝える力を養う。発表の構成、情報の取捨選択、資料や図表の活用、話し方、質疑応答などを学び、目的や聞き手に応じた口頭発表能力を育成する。

「作文」

目的や読み手に応じて、必要な情報や自分の考えを整理し、適切な文章で表現する力を養う。文の構成、段落の展開、接続表現、文章の一貫性、文体、推敲などを学び、意見文、説明文、報告文、レポートなどを書く能力を育成する。

「文法」

日本語の文法規則や文型、助詞、活用、表現形式などについて理解を深め、場面や文脈に応じて適切に運用する力を養う。文法形式の意味・機能・用法を学び、聞く、話す、読

む、書く活動において正確かつ自然な日本語を使用できるようにする。

「聴解」

会話、説明、講義、アナウンス、ニュースなどの音声を聞き、話題、要点、詳細、話し手の意図や態度を理解する力を養う。音声の特徴や文脈、話の展開に注意し、目的に応じて必要な情報を聞き取る能力を育成する。

「読解」

日常的な文章から説明文、新聞記事、論説文、専門的な文章などを読み、概要、要点、詳細、論理展開、筆者の意図を理解する力を養う。文章の構成や表現の特徴を捉え、目的に応じて情報を検索・整理・比較・評価する能力を育成する。

「漢字」

漢字の形、読み、意味、書き方、熟語の構成などを体系的に学び、文章や生活場面で適切に活用する力を養う。漢字の認識、語彙との関連、文脈に応じた読み分けなどを通して、読解力と表記能力の向上を図る。

「語彙」

日常生活、学習、社会活動、職業などの場面で必要となる語彙を習得し、意味、用法、共起表現、類義語・対義語などへの理解を深める。語彙を文脈に応じて適切に選択し、理解と表現の両面で活用できる能力を育成する。

2. 社会・文化に関する科目

「環境」

日本での生活や学習、社会参加に必要な環境について理解を深める。地域社会の仕組み、公共施設や交通、防災、生活ルール、情報環境、自然環境などを学び、身近な課題を理解するとともに、必要な情報を収集し、周囲と協力して行動する力を養う。

「異文化理解」

自分と異なる文化、価値観、習慣、考え方への理解を深め、文化的背景の違いを尊重しながら他者と関わる力を養う。文化によるコミュニケーションの違いや誤解が生じる要因を学び、相互理解を促進し、多文化共生社会に主体的に参加する態度を育成する。

「自律学習」

自分の日本語能力や学習課題を把握し、目標設定、学習計画の立案、教材・学習方法の選択、学習の実行、振り返り、自己評価を行う力を養う。教師や他者からの助言も活用しながら、自分に適した方法で継続的に学び、主体的に学習を改善する能力を育成する。

3. 進路・キャリアに関する科目

「進路選択」

自分の興味・関心、能力、適性、価値観、将来の目標を把握し、進学・就職などの進路について主体的に考え、選択する力を養う。学校や職業に関する情報の収集・比較、入

学・採用条件の理解、進路計画の作成などを通して、自分に適した進路を判断する能力を育成する。

「進路指導」

学習者一人ひとりの希望や能力、日本語力、学習状況などを踏まえ、進学・就職に向けた具体的な準備と意思決定を支援する。進学先・就職先の情報提供、出願・応募書類の作成、面接対策、試験対策、進路相談などを通して、進路実現に必要な知識・技能を身に付ける。

【学生、教員及び職員の数】

学生 100 人定員（現在 88 名在籍）

専任教員 4 名、非常勤教員 3 名

事務職員 2 名

【授業料その他の認定日本語教育機関が徴収する費用】

環境を考える！進学2年コース

	費用項目	金額	備考
初年度	1) 選考料	30,000 円	
	2) 入学金	60,000 円	
	3) 授業料	700,000 円	
	4) 教材費	60,000 円	
	5) 設備費	30,000 円	
	6) 施設費	30,000 円	
	7) 課外活動費	20,000 円	
	8) 健康管理費	10,000 円	
	初年度合計	940,000 円	
次年度	3) 授業料	700,000 円	
	4) 教材費	60,000 円	
	5) 設備費	30,000 円	
	6) 施設費	30,000 円	
	7) 課外活動費	20,000 円	
	8) 健康管理費	10,000 円	
	合 計	850,000 円	
総合計		1790,000 円	

環境を考える！進学1年6ヶ月コース

	費用項目	金額	備考
初年度	1) 選考料	30,000 円	
	2) 入学金	60,000 円	
	3) 授業料	700,000 円	
	4) 教材費	60,000 円	
	5) 設備費	30,000 円	
	6) 施設費	30,000 円	
	7) 課外活動費	20,000 円	
	8) 健康管理費	10,000 円	
	初年度合計	940,000 円	
次年度	3) 授業料	350,000 円	
	4) 教材費	30,000 円	
	5) 設備費	15,000 円	
	6) 施設費	15,000 円	
	7) 課外活動費	20,000 円	
	8) 健康管理費	10,000 円	
	合 計	440,000 円	
総合計		1380,000 円	